

図23 年齢階級別肥満とるいそうの割合(男)
(平成3年)

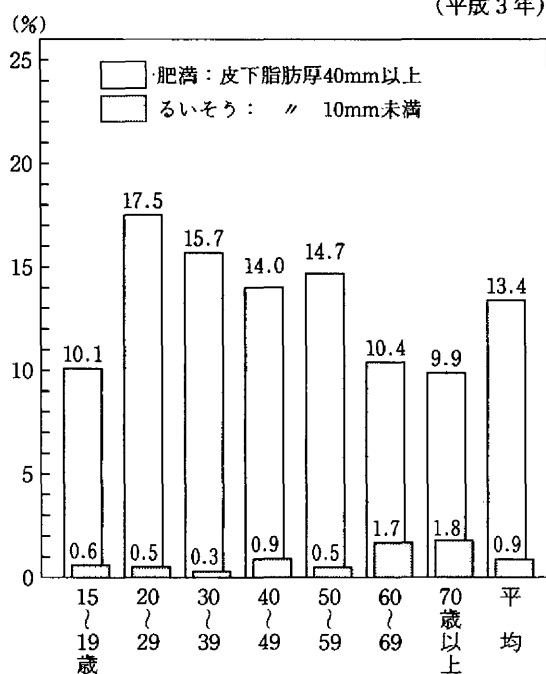


図24 年齢階級別肥満とるいそうの割合(女)
(平成3年)

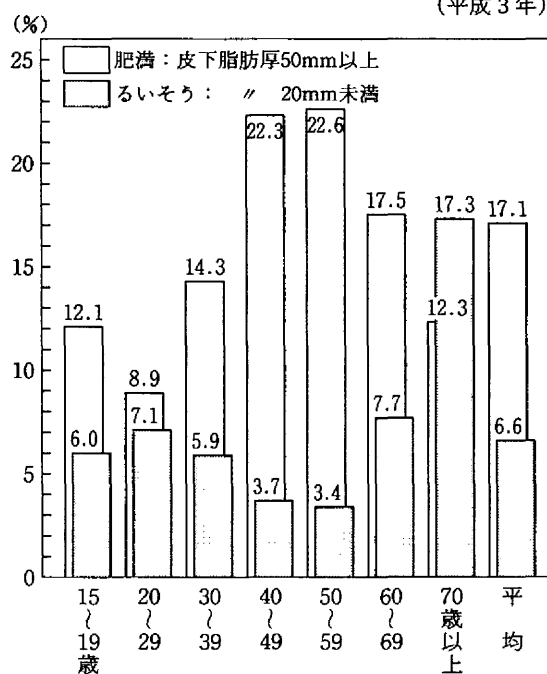
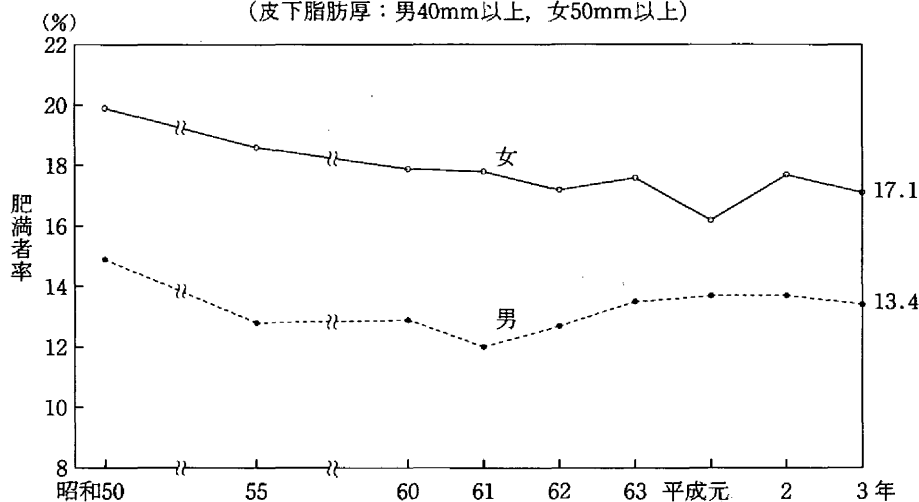


図25 肥満者の年次推移

(皮下脂肪厚: 男40mm以上, 女50mm以上)

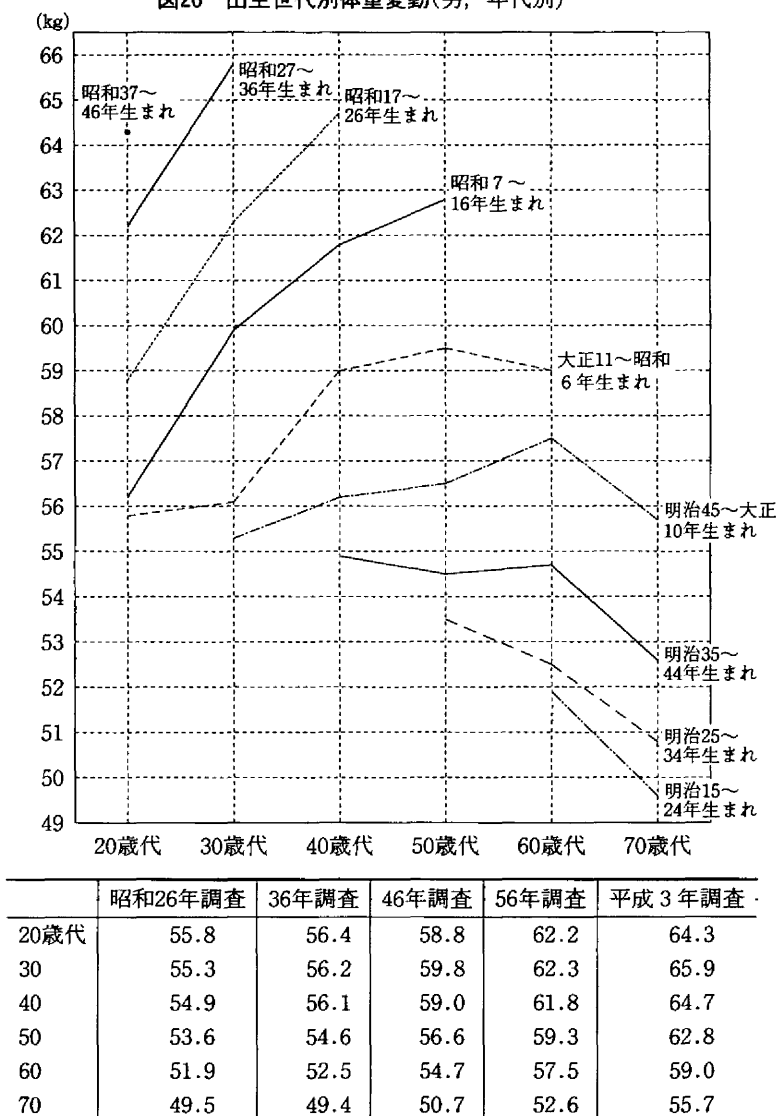


5. 外食の状況

外食について年次推移をみたのが図28であるが、昭和40年には11.3%であったものが増減を繰り返しながらも徐々に増加し、平成3年には18.7%までになっており、男女別にみても同様に増加の傾向がみられる。

また、年齢階級別に推移をみると図29、30のとおり、男女ともに各年代において増加の傾向を示し、特に20～40歳代の伸びが大きい。

図26 出生世代別体重変動(男, 年代別)



6. 食生活状況

食生活状況調査の実施に当たっては事前に調査員が記入要領を説明し、記入してもらった後、回収した。被調査者のうち、18~59歳の男女を対象として、外食、欠食の状況、食品群別摂取状況、日常生活状況等について質問調査を行った。回収された男性4,536人、女性5,014人、計9,550人の調査結果の概要は次のとおりである。

(1) ふだんの食事量について

— 普通の人より多く食べと思っている人ほど肥満傾向が高い —

ふだんの食事量については、図31のとおり、「人並みだと思う」人が7割近くを占めている。また、